

ID No.	3007
研究課題名	内在性フィロウイルス VP35 様配列の抗ウイルス機能解析
研究代表者	牧野 晶子 (京都大学・特定助教)
研究組織 受入教員 研究分担者	河岡 義裕 (東京大学医科学研究所・教授) 朝長 啓造 (京都大学・教授) 小森園 亮 (京都大学・大学院生)
研究報告 本研究は、コウモリ (<i>Myotis daubentonii</i>) のゲノムに内在化したフィロウイルスVP35様配列 (EEL35) の機能を解明することを目的として実験をおこなった。EEL35を過剰発現させた細胞では、フィロウイルス科に属するマールブルグウイルスまたはエボラウイルスのポリメラーゼ活性が抑制されることが明らかとなった。また共焦点レーザー顕微鏡を用いた解析では、EEL35を単独発現させた場合とマールブルグウイルスのポリメラーゼ複合体とEEL35を共発現させた場合では、EEL35の細胞内局在が変化し、ウイルスの複製の場であるinclusion bodyと共局在している可能性が示唆された。	